

編集後記

『丸山眞男記念比較思想研究センター報告』第十三号をお届けいたします。刊行にあたっては、関係各位に多大なお力添えをいただきました。深く感謝申し上げます。

今号は、本センターの二〇一七年度の活動報告と、二〇一六年度に完結した文部科学省平成24年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「20世紀日本における知識人と教養―丸山眞男文庫デジタルアーカイブの構築と活用―」プロジェクトの活動報告（補遺）とで構成されています。

本センターの活動報告としましては、巻頭に丸山文庫所蔵資料の整理・公開状況を収録いたしました。

二〇一七年度の丸山文庫記念講演会は、当年度より丸山文庫顧問をお引き受けただいております渡辺浩氏（東京大学名誉教授）に、「個人」とは何か、「個性」とは何か…清朝中国と徳川日本で考える」というテーマでお話いただきました。父系同族集団としての清朝中国の宗族と、家業を担う集団としての徳川日本のイエとを比較し、前近代社会の多様性を鮮やかに描き出した刺激的なご講演でした。フロアからも多数の質問が寄せられました。渡辺先生に厚く御礼申し上げます。

そのほか、公開研究会と公開授業の記録を収めました。公開研究会では前記プロジェクトの全事業報告書（論文集）の合評会を行いました。当日、司会を務めていただいた河野有理氏（首都大学東京教授）に主題となった論文をめぐる議論の要点や当日の様子などをまとめていただきました。公

開授業の共通科目「比較思想」は、大久保健晴氏（慶應義塾大学准教授）に「近代日本の政治思想と外交」という題目でご担当いただきました。

丸山文庫所蔵の未発表資料翻刻は、「竹内好・武田泰淳・武田百合子書簡 丸山眞男宛 二五点」を掲載しました。

なお、二〇一七年一月一三日、本センターの活動に多大なご理解・ご支援を賜った進藤咲子氏（本学名誉教授）が永眠されました。哀悼の意を表するため、川上彰子氏（進藤氏ご息女）、松沢弘陽氏（元・丸山文庫顧問）に追悼文をご寄稿いただきました。厚く御礼申し上げます。

また二〇一七年度より、本センターと立命館大学加藤周一現代思想研究センターは協力協定を締結いたしました。それを受けまして、鷲巢力氏（同センター長・立命館大学客員教授）に、「加藤文庫」と加藤周一の方法」をご寄稿いただきました。このたびの協定の背景にある加藤周一文庫（同センターが所管）の設立背景を詳しく紹介していただきました。深く感謝申し上げます。

プロジェクト活動報告の補遺としまして、二〇一六年度の国際シンポジウムにご参加いただいたアンドリュー・E・バーシェイ氏、ヴォルフガング・ザイフェルト氏、金錫根氏による全事業報告書掲載論文の原文を寄稿していただきました。また、川口雄一氏（二〇一五～一六年度 本学特任研究員）による丸山文庫所蔵資料調査報告「敗戦直後の長野県における丸山眞男の講演・講義」をまとめていただきました。なお、このプロジェクト

の成果として、二〇一七年九月、一〇月に、『丸山眞男講義録』別冊一・二（東京大学出版会）が刊行されましたことを、付記いたします。

今号掲載の研究プロジェクト補遺によって、本センターの活動は一つの区切りを迎えることができました。その成果をもとに、本センターは今後、多様な形で丸山眞男研究、ひいては戦後思想史研究の発展に貢献できるように、努めてまいります。皆様のご理解・ご支援のほど、なにとぞお願い申し上げます。

丸山眞男記念比較思想研究センター長 篠目清美

東京女子大学比較文化研究所附置

丸山眞男記念比較思想研究センター報告 第十三号

二〇一八年三月二二日発行

編集 篠目清美

発行 東京女子大学

〒167-8585 東京都杉並区善福寺二一六一

電話・〇三―五三八二―六八一七

FAX・〇三―五三八二―六二二〇

marubun@lab.twc.u.ac.jp

<http://office.twc.u.ac.jp/univ/research/institute/maruyama-center/>

印刷 (株)丸井工文社